

技術力向上の取り組み

紀伊半島大水害における土砂災害発生時の対応

～何を考え、どう行動したか～

～紀伊山系砂防事務所～

紀伊半島大水害から7年が経過し、発災時に国土交通省近畿地方整備局が何を考えどのような行動をしたのか、改めて振り返る機会として発災当時にご奮闘された方々を講師として招き職員を対象とした講義を開催しました。

講師は、近畿河川技術伝承会より派遣された方々で、紀伊半島大水害の概要（初動対応と支援状況）、リエゾン派遣及び日建連等への要請、緊急工事、地元等の期待と題した講義をしていただきました。

講義後は、発災後に接近する台風による被害の防止や、降雪の中で施工を行ううえでの留意事項について討議を行い、それらを通じて災害対応時の安全対策をご指導いただきました。

講師（近畿河川技術伝承会）
※当時に携わられた主な業務
岡山公雄 氏
災対本部（那智勝浦町リエゾン）
細川 雅 氏
災対本部（河川全般対応）
山岡康伸 氏
災対本部（防災課長）
橋本豊治 氏
工事現場監督
橋本紀一 氏
工事現場監督

○講義風景



○被災当時の様子(宇井・清水)



○参加者からの感想

- 過去の資料から、当時の様子を学んだが実際に体験された方々の講義は資料に書かれていないトラブルなどがあった。その解決策を学ぶことができ非常に有意義な講義であった。
- 実際に災害対応業務に携わった職員方の意見を聞くことで貴重な経験ができた。この経験を通じて、現在自分が携わっている業務の重要性を改めて感じた。
- 経験された方の生の声は、とても説得力があった。災害が起きたときに自分は何ができるか、日頃から意識していきたい。
- 地域の方々が一日も早く普通の生活に戻れるようにという強い意志で取り組まれてきたことを引き継いでいきたい。

日 時：平成30年9月26日（水曜日）
14:00～17:00
場 所：紀伊山系砂防事務所
参加者：国土交通省職員 22名

【問い合わせ先】
近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 工務課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111（代）

